

中国の汚職腐敗犯罪の 処罰に関する実践と展望

陳 国慶

一 中国での汚職腐敗に関する 主な形態およびその特徴

権力・金銭交換を主な特徴とする汚職腐敗は、古今東西世界各国に存在する負の現象であり、特に現在発展途上の国々では共通の欠点であり、最大の社会問題として、社会・経済の発展を阻害し、社会矛盾を激化させ、社会の風紀を害する病となっている。改革開放以降、中国の社会・経済は大きな進歩を遂げ、計画経済から市場経済へと変化・発展するに随い、社会に生命力や活気が充満し、さらに大きく発展していく潜在能力が蓄積されている。しかし、腐敗現象がしだいに蔓延してゆくことも避けられず、社会

に対して多大な弊害を生み、様々な良識ある人々の注視と思考を引き起こさざるをえなくなっている。現在、中国での汚職腐敗の主な形態については、以下のいくつかがある。

一部の国家勤務人員が職権を濫用して私腹を肥やすために、盛んに権力・金銭交換を行なっている。改革開放、市場経済建設の中で、一部の国家勤務人員が権力を商品化・市場化し、市場経済における等価交換の原則を国家機関の仕事に誤った形で持ち込んでいる。国家勤務人員、特に高級幹部がその職権を利用して賄賂を受け取っているという腐敗現象は、現在最も深刻で悪辣な手口である。その上、この種の犯罪は日に日に深刻化している。

統計に拠れば一九八二年から九二年までの十年間で、全

国の檢察機關が摘発した汚職・贈収賄事件は四十余万件、その中でも一万元以上の大きな事件は五万八八九二件^①。摘発された県・処以上の指導的立場にいる幹部は四二一七名^②。一九九四年に全国の檢察機關が起訴した各種經濟犯罪の事件は合計六万三一二件、前年比六・八%増となった^③。一九九五年に全国の檢察機關が摘発、起訴した汚職・贈収賄等の犯罪は六万三九五三件、処罰された県・処以上の幹部は二二六二人、前年比二七・九%増となり、中でも庁・局クラスの幹部は一三七人、省・部クラスの幹部二名が処罰された^④。

一九九六年に全国の各檢察機關で受理した汚職・贈収賄・公金横領等の事件は一〇万三八三件あり、その中でも一万元以上の贈収賄、五万元以上の公金横領という大きな事件は三万一〇五三件^⑤（百万元以上の事件が六三〇件）となり、前年比五・六%増、県・処クラスの幹部二二二八人、庁・局クラスの幹部一二八人、省・部クラスの幹部五人が摘発された^⑥。一九八八年から一九九三年に中国檢察機關で贈収賄等の經濟犯罪によつて逮捕・処罰された国家勤務人員は計二万五千人に及び、一九九九年には摘発された贈収賄・汚職犯罪件数が計三万八三八二件、前年の九・四%増となった^⑦。

行政執行機關で働いている者の一部が収賄して法を枉げ、賄賂を要求したり、私情によつて不正行為を行なうという犯罪が深刻である。行政執行機關は、市場經濟を規範

化し維持してゆく過程で重要な働きをしており、いかなる市場活動・經濟活動もその担当の機關における法の執行によつて調整を加える必要があるため、行政執行機關の人員に対する贈収賄や懇願などの行為が徐々に増加している。少数の行政執行機關、特に税関、税務、工商部門の人員がその権力を利用して法を犯し、賄賂を受け取つて法を枉げ、私情によつて不正行為を行なうことは、現在の腐敗でも深刻な形態であり、國家機關の威信を大きく傷つけ、市場經濟の秩序の健全な發展に対しても多大な危害を与えている。

人物、財産、物品を司る部門や經濟管理部門での腐敗行為は他と比べても深刻であると言える。經濟發展で注目されている分野、市場經濟に対して重要な調整・コントロールを行なう役目の部門は、往々にして腐敗が多く深刻な部門である。金融、建設プロジェクトや土地審査部門、物資管理部門では贈収賄事件が増加している。經濟發展で注目されている証券市場、不動産業、先物市場等では、新たな犯罪の口や動向が現れている。一部の國家勤務人員がその立場を利用して無断で公金を流用して株、有価証券、土地の売買によつて暴利を貪っている。金融証券部門には職権を利用して他人の株の売買を助け、優先的に株の売買ができるよう便宜を図った者がいた。また、株券を発行するさい、關係する上級機關や個人に「権力株」「關係株」を配

り、権力と企業の経済活動を同じ利害関係で操った国有企業もある。

ここ数年、贈収賄による汚職の額は年々増加し、重大かつ深刻な事件は日に日に増加している。近年、処罰されたいくつかの刑事事件の汚職額には驚くべきものがある。数百万、一千万を越える額の賄賂を受け取ったとされる事件もあった。収賄をする者の多くは直接金銭・財産の管理を担当しており、賄賂を受け取る側で財物を管理する立場にいる者、特に個別具体的権力を有する者が多い。中国は国土が広大なため、各地域、特に沿海部と内陸部の発展が不均衡であるが、いずれにおいても犯罪金額は増加の傾向にあり、各地で今までにない大きな事件が次々と発生して、人々を驚かせている。もともと、経済発展の不均衡が原因で、数においては一樣に増加傾向にある犯罪が社会的危害の点で千差万別となり、法の統一的な執行を困難にしている。

汚職、贈収賄等で腐敗した集団の犯罪が増加して、内外が結託して、業種、地域をも越えた大事件が突出し、一部の国家勤務人員と経済犯罪分子とが共謀して犯罪を行ない、組織的に汚職、贈収賄、闇取引、脱税等の犯罪行為を重ねており、一事件が複数の事件に関連し、一事件が複数の罪を構成し、一人が複数の事件に関与していることが多い。不正を行なう風潮が深刻な地域では贈収賄が横行し、しば

しば指導グループや部署全体が汚職、贈収賄等の腐敗行為を行ない、検察が事件を捜査すると芋蔓式に当該地域の党・行政の指導グループが一網打尽に逮捕されることさえよく見られる。

贈収賄・汚職など、国家公務員の職務犯罪は深刻であり、近年汚職と一般の経済犯罪（市場経済秩序を破壊するような犯罪。中国の刑法分則第三章に規定されている密輸、脱税、税詐欺、商標詐称、偽造品・不良品の生産販売等の経済犯罪）とが互いに複雑に絡み合い、国家勤務人員とその他の人員が結びついて共謀して事件を起こし、主犯・共犯ともに複数の罪に関与している状況が増えている。加えて、公安機関と檢察機関がそれぞれその管轄する罪状を捜査するにさいしては、処罰への抵抗も大きく、人員も負担も増えるため、この種の犯罪を捜査・処罰するのは困難をきわめる。

高級官吏に嫌疑がかかる事件も増加している。一九八〇年代には、副部（省）級以上の高級官吏の汚職・贈収賄疑惑事件の数は比較的少なく、金額も少なかった。しかし九〇年代中期以降、高級官吏の腐敗疑惑事件は明らかに増加の一途を辿っている。二〇〇〇年一月一二日、中国共産党中央紀律検査委員会書記尉健行は中共中央紀律検査委員会第四回全体会議において、九九年に発覚し摘発されたもので、職務級別が高く、金額も巨額で、事件内容が複雑に錯

綜している重大な事件について、県（処）の幹部クラス四〇九二人、地（庁）の幹部三二七人、省（部）の幹部一七人（軍は含まない）が処分されたと発表した。典型的な事件として、寧波市元市委員会書記許運鴻の職權濫用事件、江西省副省長胡長清の贈收賄事件、中国国際信託投資公司元副理事長金德琴による職權を利用した巨額の公金横領事件などがある。

犯罪の口口は狡猾になり、隱匿性も強く、犯人達の逆探知能力も高い。犯罪自体の特殊性から言うと、国家勤務人員の職權犯罪が独自の特徵を持つている。第一に、国家勤務人員の教養や社会的地位は高く、社会での面識も広く、犯罪を行なうにあたっては、深く十分に考えを巡らし、周到に計画を立て、その犯行手口も非常に狡猾である。犯行中や犯行後、彼らは巧妙な偽装工作をするので、その隱匿性と欺瞞性も突出している。第二に、嫌疑を受けた国家勤務人員の中には指導的立場にいる幹部も含まれており、その官位は高く権力は巨大で、多大な社会的影響力を有し、活動能力も大きい。司法人員には法律や捜査方法に精通し、捜査逆探知にも長けている者がいる。彼らの多くは、犯行前に十分に犯行計画を練り、警察捜査に対する対策まで考慮している。仮に事件が発覚し逮捕されても、口裏を合わせて証拠を隠滅したり、コネを見つけ情実^{（一）}に訴えたりして、捜査を妨げる。

汚職腐敗現象の発生と蔓延は、社会に対し重大な危害を与えものである。その主なものを以下に列挙してみよう。

(一) 社会の風紀に深刻な危害を与えるだけでなく、民族の倫理や道德の健全な發展全体にも影響を与える。中国の歴史から見れば、汚職が習慣的になった社会は道德も墮落しているのが常だ。汚職・贈收賄等の腐敗の氣風を抑制するのには有効な手段をとることができなければ、社会風紀はさらに悪い方向へと發展してしまうだろう。

(二) 經濟建設に危害を与える。汚職・贈收賄等の腐敗は社会秩序や經濟秩序を破壊し、汚職腐敗が横行する社会では經濟が健全な速度と持続的な發展を保てない。現在の状況を見ると、汚職・贈收賄等の腐敗事件の發展と蔓延は、かなりの程度、国家の經濟建設に対して重大な危害をもたらしている。腐敗現象は数多くの改革措置を崩壊させ、經濟建設をも混乱させるばかりか後退させ、改革開放の成果をも台無しにするだろう。

(三) 政權の安定に危害を及ぼす。国家勤務人員の汚職・腐敗は、政權党と政府に対する大衆のイメージをねじ曲げ、威信を低下させる。現在中国における腐敗現象を早急になくさない限り、すぐにも党や国家が亡びる危険がある。政權党や政府が事態を輕視し、腐敗が蔓延するに任せていれ

ば、国の政権を葬送することになる。

現在の中国社会に汚職腐敗が出現した主な原因には、次のいくつかがある。

(一) 計画経済の市場経済への転換にともない、市場経済の社会交換法則（あるいは交換法則）は社会・経済、特に政治生活の各方面に浸透して、人々がとる行動を支配する主な法則となった。この社会交換には競争が存在し、人々は交換・競争の中でそれぞれの市場行為を行なうのだが、問題は、社会政治権力と金銭の間でも交換が始まり、それによって一部の人が機会や元手を超えた大きな利潤を得ることなのだ。

現実生活において、一方には、一定の権力を握っている国家勤務人員が存在し、他方には、巨額の利益を得るために金銭と権力を交換するのも厭わない人々がいる。国家権力が経済分野に対して大きな干渉権と影響力を有しているため、権力と金銭の交換は防止することができないばかりか、益々激しくなっている。市場経済の発展と民主政治の健全化は、元来は、腐敗現象を削減・廃除するのに有効であり、腐敗の増加や蔓延の原因となるものではありえない。市場経済を形成する過程で、できるだけ早く市場を拡大し資源を配置するという積極的な措置を採り、権力の濫用や権力と金銭を交換できる空間を縮小させて、効果的に

腐敗現象を抑制・制御するよう努力することが肝要である。

(二) 中国は封建社会の歴史がとても長い国である。封建主義やその他搾取階級の遺物が長期にわたって存在していて、権力尊重、権力濫用、権力・金銭交換が歴史上に多くの痕跡を残しており、今日でもその影響を徹底的に消し去ることは難しい。一九七〇年代末に改革开放を實行して以来、特に社会主義市場経済体制の確立という新旧体制の転換過程で、制度やメカニズムの不健全さや不完全さが、中国の腐敗現象を増加させる弱い環を構成している。拝金主義、享楽主義、ウルトラ個人主義や特権意識は国家勤務人員の中でも意志の薄弱な者を蝕み、押し流しつつある。中国の歴史に残存する封建思想が西洋的な墮落思想や生活様式と結びつき、より大きな破壊力となって、社会風気を悪化させ、汚職腐敗の主観的要因となっているのである。

(三) 監督メカニズムが不完全であるということが、国家勤務人員による職務犯罪の客観的な原因となっている。計画経済が市場経済に移行する過程では、完全な市場運行メカニズムや信用第一という觀念が未確立なため、多くの抜け穴や弱い部分があり、監督・制約メカニズムとしての有効さを欠いている。特に一部の指導的幹部の腐敗行為に対しては、健全で有効な大衆監督と世論監督を欠如している。中国の憲法は「国家の全ての権力は人民に属す」と明確に

規定している。しかし、人民が直接権力を持つて社会の管理に参与することは不可能であり、国家机关およびその勤務人員が人民を代表して国家の指導権と社会の管理権を行使するという権限を国家から与えられているにすぎない。こうして、権力の所有権と権力の行使権が相対的に分離した状況が出現した。

だから、中間の環——監督メカニズムによって、権力の行使者が人民から与えられた権力を正しく使用することを保証することが必要である。これまで長い間、我々は思想教育を行なうことを重視し、人々の自覚と自律こそが思想の腐敗と修正主義化を防ぐのに効果があると考えてきたものの、民主的法制によって国家の勤務人員を監督することを軽視し、充実した、合理的で、効果的な監督システムを確立しなかったため、一部の国家勤務人員が職権を利用して違法な犯罪行為を行なうようになった。だから、権力に対して正確で有効な制約・監督ができる体制、国家勤務人員による職務犯罪の発生・発展を適切に抑制し、各種公職に携わる者の犯罪を最低レベルまで減少させるメカニズムを確立することが、目下緊急に解決すべき問題なのである。

(四) 一部の役人の素質が低下していることも、中国の腐敗現象が蔓延している重大な原因の一つである。中国の政府機関および司法部門には、教育レベルが全般に低く、待

遇も悪いため、自分の持っている権力は大事にしても、公務員としての職務や地位を大事にしなくなっている官吏がいる。腐敗とはある一定の社会構造と官吏個人の素質とが結びついた産物である。市場体制の不完全さが原因で、社会構造・管理制度において多くの抜け道が現れてしまった。文化的素質・道徳的節操が低下した官吏、あるいは文化程度が比較的高くても道徳的素質を欠いた官吏は、その機会に遭遇したり誘惑に耐えられなくなると、自分が手にしている権力を金銭や様々な利益と交換してしまい、権力を濫用することを通して自分の私欲を実現、満足させるのである。

(五) 腐敗とは元来、官吏による腐敗だけにとどまらない。社会の不正の気風、中国社会特有のコンプレックス重視や人情も、また腐敗の土壌や社会的雰囲気醸成する。社会の一部の不法分子は、不正かつ違法な利益を追い求めるために、あらゆる手段を講じて金をばらまき、手段を選ばず国家勤務人員を抱き込んで、金銭と権力を交換し、権力を違法に利益をむさぼる道具にしようとしている。社会腐敗という消極的現象と官吏の消極的な腐敗現象が結びついてそれぞれが増幅され、権力と金銭が有無相通じてゆく結果、権力と金銭の交換はますます発生・蔓延し易くなっているのである。指摘すべきことは、経済的側面の改革に比べ、中国における政治的側面の改革は遅れ気味で、民主と法制

はまだ健全ではなく、法治国家への要求からは遠く距たっていることである。したがって、中国には今後も汚職腐敗現象は長く存在し続けるだろう。これについては、覚めた認識が必要なのだ。

腐敗とはどんな社会も避けることのできない現象であり、その発生・発展や抑制にもそれ自身のルールがある。腐敗を最小範囲内に制限できるかどうかは、一国の政府がいかに腐敗問題に対応・処理するかに係っており、その決断の有無、ならびに腐敗現象を反対・抑制するのに正確で有効な措置がとれるかどうかに係っている。近年、中国政府は腐敗が政権党や国家の生死存亡に関わる重大問題だと冷静に認識し始め、一連の政策や措置を採って腐敗現象を抑制し、党・政府を厳しく管理することで、すでに一定の効果を得ている。近年における、重大な汚職犯、元江西省副省長胡長清事件の処理は、法に基づいて死刑を執行した腐敗事件では建国以来、最高の級別を対象としており、中国政府の腐敗問題に対する深い洞察と腐敗撲滅への断固とした決心のほどをはつきりと示している。

二 中国検察機関の法に基づいた 腐敗処罰の基本的措置

中国の刑法・刑事訴訟法の規定に拠れば、中国検察機関

とは法に基づいた汚職腐敗の捜査と起訴を主管する機関で、国家勤務人員の汚職・贈収賄犯罪に対して法に基づいて捜査・立件し、逮捕・起訴できる権限を持っており、中国の反腐敗工作の中でも最も重要な地位にある^⑧。一九八八年以降、中国の各級検察機関は次々に反汚職・贈収賄捜査局や法紀検察部門（国家機関工作における職務汚職犯罪、公民の人身や民主的権利を侵犯した犯罪を立件・捜査する部署）を設置し、汚職腐敗犯罪の捜査・取り締まりに当たっている。この十数年間、中国検察機関は一貫して汚職腐敗事件の捜査・処分を自らの重要課題にしてきており、その点で大きな成果を挙げ、豊富な経験を積み重ね、捜査にあたつて、検察独自の制度と方法を作り上げた。

第一に、検察機関は腐敗汚職事件を重点的に捜査し、中でも特に突出したものを重点的に捜査・処罰して、人民に衝撃・影響を与える大事件を集中的に捜査した。金融、証券、不動産、土地の賃貸、建設工程等での職務犯罪を重点的に捜査し、大中型国有企業で発生した汚職贈収賄、特に深刻な国有資産の流失事件、市場を管理し、市場経済秩序を維持し、経済の安全を保護する職責を有する行政部門で発生した、職権濫用や私情による不正犯罪事件等を重点的に捜査・処罰した。各地基層の検察院は担当地域の実状に基づいて事件を重点的に捜査することを確定し、どの郷・鎮・施設で、汚職・贈収賄等の職務犯罪が起きたかの捜査

を重視した。

第二に、汚職・贈収賄、職務犯罪を摘発し見破るやり方を積極的に研究し、捜査水準や事件解決の能力を大きく向上させてきた。捜査意識を変化させ、捜査自体が単純に被疑者から供述をとることから、全面的に証拠を集め、特に物証を得るという方法へと転換して、捜査手段や措置の法に基づいた運用を改善し、証拠集めや取り調べの水準も向上させた。汚職・贈収賄事件の特徴や法則性を真剣に分析し、特に刑法改正後に新しく規定された犯罪を研究・調査する事によって、的を絞った捜査の方針や方法を採用、規範的で効果的な捜査システムを確立した。

第三に、行政監察やその他関連する部門と協力して中国特有の腐敗に対抗する指導体制を堅持し、監察機関や公安・監査等の部門との協力体制を強化して難解で複雑な大事件も乗り越えてきた。檢察関連部門との協力関係を引き続き整備し、関連する情報を適時交流・交換した。事件を捜査する中で、檢察関連部門が協力し、各々法に基づいて定められた職責や手続を厳格に守るようにした。

第四に、檢察権力を充分に運用して、汚職腐敗犯罪の予防工作を強化した。檢察機関は、職務犯罪の予防を腐敗抑制の重要項目とすることで、事件の予防を大々的に展開し、事件の主観的・客観的な原因を徹底的に解明することを通じて、適切に檢察の意見を提出し、摘発単位による解

明システムを援助した。業界やプロジェクトに対する予防も積極的に展開している。檢察機関が、多くの事件を起こしている業界や重点建設の工程に深く入り込み、犯罪グループの構成、特徴、法則性を総合的に分析して適時主管する部門に連絡して、関係する業種や部門における健全な監督・制約システムの確立を推進した。積極的に法制を展開し教育的予防を宣伝することは、国家公務員の法制に対する意識や清廉たらんとする自覚を高めた。一部の地域では職務犯罪を予防するための指導・協力体制が既に確立しており、檢察機関は法律によって与えられた職責を充分に運用することで予防システムを機能させ、社会の各方面の力を結集して職務犯罪を予防しているのである。

檢察機関で捜査・処罰された汚職腐敗事件の中で、私自身が採った措置の主なものに、次のいくつかがある。

(一) 各級檢察院での汚職腐敗事件担当の指導を強化し、適時に担当部署が立件・捜査、人材配置、物質的保障等の大きな問題を解決するよう検討した。上級檢察院は下級檢察院の反汚職贈収賄への指導力を強化し、下級檢察院が捜査上出会う重大事項について適時上級へ報告させ、上級檢察院の決定を断固として行なわせた。檢察機関は法に基づいて積極的に汚職腐敗事件を断固として捜査することを堅持し、重大事件を重点的に捜査しなければならない。

(二) 捜査活動を規範化し、法定手続を遵守した。

(1) 初期捜査を重視した。初期捜査とは、檢察機關が事件の手がかりを立件する前に法に従つて審理すること、必要な調査をすることも含まれる。捜査の初期段階では、報告のあつた事件、告訴、告発、自首する材料等を審理することができ、告発人やその他關係者から話を聞くなど、必要な調査や事件に關係する情報を収集する。初期捜査は一般には非公開で進められ、被疑者に対して強制措置を採ることはできず、物品の押収、拘留、財産凍結ができない。初期捜査では聞き込みや取り調べを行ない、監察・監査等關連機關と調査を進め、告発人や信賴できる事情通、關係諸機關に協力を願ひ調査することができる。

(2) 檢察機關は刑事訴訟法に規定される立件条件を厳守し、犯罪事実を踏まえて刑事責任を追及すべきと判断すれば、立件すべきである。これには法に基づいた正確な理解、法律で規定されている立件条件の把握が必要で、事件の具体的な状況が立件条件と符合すれば直接立件できる。

(3) 各種強制措置を上手に運用した。強制措置とは刑事訴訟活動が順調に行なわれるのを保証する手段であり、事件の捜査情況に応じて法に基づいて強制措置を適切・適時に採用・変更することができる。拘留期限の超過や違法となる別件での被疑者の拘留は厳禁となつてゐる。人民檢察院は汚職贈収賄事件の処理で、保釈、住居監視、拘留、逮

捕などの強制措置の採用を決定し、公安機關を通じて法に基づいて執行される。檢察機關は人員を派遣して公安機關の執行を助け關連情況を提供して良い。緊急の状況下では、逮捕・拘留の条件を満たす被疑者に対して先に必要な措置を採り、かつ適時公安機關へ強制措置の執行を報告できる。被疑者が潜伏・逃亡した場合も、立件されていない事件は法に基づいて立件し、逮捕条件を満たすものに関しては逮捕を決定し、公安機關に起訴、指名手配、国境監視を依頼し、公安機關に協力して逮捕の便を図るべきである。汚職贈収賄犯罪の被疑者の逃亡情況を常に把握し、併せて上級機關への報告を行ない、公安機關に逃亡犯を追跡・逮捕するための情報システムの提供を依頼する。

(4) 客観的、全面的に証拠を集めた。被疑者が有罪か無罪か、罪の輕重を問ふ証拠を法に従つて集めなければならない。捜査で証拠集めをする場合、法定手続に従つて嚴格に行なわなければならない。証拠固めをするためには、大事件・重要事件に対する聞き込みや尋問等の捜査活動の他に、録音・録画・写真等の視聽覚手段で証拠を固めて、保全し、積極的に視聽覚資料等の証拠を法に基づいて収集・運用しなければならない。

(三) 汚職腐敗事件を捜査する中での指揮・協力体制を強化した。最高人民檢察院や省級檢察院は捜査の指揮・協力機能を充分に發揮した。いくつかの檢察院が共同捜査した

り、部署を統一させて捜査する必要のある重大事件に關しては、捜査組織を作り、最高人民檢察院または省級檢察院によつて指揮を統一した。さらに一步進んで全國檢察機關における汚職贈收賄事件の捜査が全體的に優勢になるよう指揮をとり、事件処理の効率を向上させた。法に基づいて捜査協力を広く展開した。事件を処理する檢察院は必要ならば事前に協力を求めることができ、協力を要請された檢察院は積極的に応じなければならない。

汚職贈收賄事件の手がかりを発見する道を開拓し、犯罪を見つける力を向上させ、さまざまな方法によつて公民や單位からの告発を奨励しなければならない。汚職贈收賄事件に關する情報の収集と分析に気を配り、捜査における新しい犯罪事実や被疑者の発見に便ならしめる。研究・対策を強化し、捜査戰略に気を配つて、新たな情勢や要求に適應した汚職贈收賄犯罪の捜査方法を總括する。汚職腐敗犯罪の手段や被疑者の捜査妨害の特徴に重點的にまを絞つて捜査方法を練る。積極的に反汚職腐敗工作を行なつて國際司法機關と協力して、法律やわが國が批准・參加している國際條約に照らして、國外での証拠収集、逮捕、証拠物件の移送制度などを規範化し、國際司法との協力ルールを広く開拓しなければならない。

(四) 工作管理を強化し、監督制度を規範化し、実務検査の公開制度を嚴格に執行した。事件処理の手續、立件の基

準、事件処理の紀律の公開を實行して、法律で規定されている告知義務を的確に履行させた。事件処理の責任制を實行させた。捜査責任を明確にして、捜査人員の積極性を充分に發揮させ、捜査の質を保証し、作業効率を向上させた。

事件の監督処理を強化することで、監督責任制を確実にさせる。指導機關が委託処理、監督処理した事件については、その処理を適時遂行し、責任を明確にして、事件の重要な進展状況を報告し、期間内に捜査を終了させて結果を報告しなければならない。上級檢察院は監督処理、委託処理事件に対しての督促、指導、検査を強化する。重大事件は立件して、捜査の終了とともに上級檢察院へ事件に關する資料を報告しなければならない。上級檢察院は報告のあつた事件を適時に審理して、誤りがあつた場合は報告元の下級檢察院へ通知し、その下級檢察院は状況を處理して適時報告しなければならない。

内部制約制度をより一層確實にする。檢察機關各部門の間は互いに協力・制約し合わなければならない。告発センターは、事件の告発材料を一括して受け取り、捜査部署に処理を配分する。汚職贈收賄犯罪の嫌疑ある事件は、受理以降七日以内に反汚職贈收賄捜査部門に送られ、所定の手続きに従い適時初期捜査および立件審査を進めて、事件の手がかりがそのまま放置されることを減少・防止しなければ

ばならない。反汚職贈収賄部門は捜査で得た手がかりについて、汚職捜査を管轄する裁判指導者の批准を経て直接処理することができる。告発センターが告発を受けた場合は反汚職贈収賄部門が人員を派遣して共同で面談することができる。重大事件の捜査については、逮捕や事前に起訴部門が介入できるかどうかを審査して、事件の状況を熟慮し証拠を審査する。反汚職贈収賄部門自らが証拠の収集等の問題処理について、自ら逮捕を審理したり起訴部門の意見を審理することを求めることができる。

(五) 宣伝や人員育成を強化し、科学捜査を重視した。

檢察機關は汚職贈収賄に反対する宣伝に力を入れた。様々な効果的な方法をとって積極的に広い範囲で檢察機關が反汚職贈収賄工作の成果を宣伝し、國家が展開している反腐敗の決意や方針、政策を宣伝してきた。

各級檢察院は反汚職贈収賄工作の實際の需要や長期的發展に着目し、人材の教育・育成に力を入れ、高い素質と技能を持つ反汚職贈収賄の専門家集団を作るため努力している。國家檢察官學院や各省の檢察院育成機構では分担して、各級檢察院の反汚職贈収賄局幹部の育成に責任を負っている。

反汚職腐敗工作における科学技術の要素を増加させ、「先進、適用、配置、普及」の原則に則り、汚職贈収賄事件の捜査に必要なかつ適合した設備を置き、反汚職贈収賄関連部

門の管理、指揮協力、捜査効率の管理、情報通達、情報共有に適用されるコンピュータ管理体制を開発し、一歩ずつ檢察関連部門のコンピュータ通信網を実現した。汚職腐敗事件の捜査に必要な交通・通信用具等も的確に保証した。各級檢察院は科学技術の投入を強化して、捜査活動を最新水準にまで向上させなければならない。檢察機關の基礎設備、安全防犯の要求に適い、機能の整備された取調室や応接室の建設を強化しなければならない。

三 「法治」の実行と

反腐敗清廉提唱運動の展望

新中国建国以来、中国政府は腐敗に反対・処罰する闘争を止むことなく続けてきた。改革開放後、特に中国憲法で「法に依つて國を治め、社會主義法治國家の治國方略を建設する」ことが確立して以来、腐敗への処罰は少しずつ「法治」の軌道に乗ってきた。法に基づいて汚職腐敗を処罰してきたが、それは大衆運動という形をとったものではないことが、中国の改革開放の前後における腐敗問題処理の一つの重要な違いである。

一九九七年に改正された中国刑法では、汚職贈収賄犯罪についての特別規則が定められ、中国政府の汚職腐敗嚴罰に対する決心と重視を充分に示した。一九九六年に改正さ

れた刑事訴訟法では、中国檢察機關が汚職贈收賄犯罪、國家機關勤務人員の汚職、公民の人身や民主的權利に対する侵害を立件・捜査する専門機關であることを明確に規定し、中国檢察機關の、國家公務員における汚職腐敗犯罪の捜査・処理を主管する機關としての法的な地位と役目を再度確立し、併せて檢察に立件・捜査して逮捕・審理・起訴する決定権を与え、檢察機關の汚職腐敗犯罪捜査をするための有力な法的武器とした。中国檢察機關は、法に基づいた汚職腐敗犯罪の捜査条件を堅持し、犯罪の処罰と公民の法的權利の保護との關係に氣を配り、犯罪の懲罰や犯罪の予防にも効果が上がるよう注意し、嚴格に実體法を執行し、かつ嚴格に法定手続法を執行して、特に法定手続を厳しく守って汚職腐敗事件を立件・捜査することに力を入れていく。

中国は計画經濟から市場經濟への過渡期という長い歴史時期にあるため、物質的利益を追い求めることを特徴とする権力・金錢の交換という腐敗がこの過程に目立って発生したが、そのこと自体は些かも驚くべきことではなく、どうすれば良いのか分からなくなるといふ事態にも至ってはいない。

現代世界の先進国であれ發展途上国であれ、腐敗は避けられない現象であり、ただ現れる程度が異なるにすぎない。かつて一八、一九世紀の自由資本主義時代にも先進国には

重大な腐敗現象が発生した。計画經濟の遺物、市場經濟の不備、様々な社會の運行メカニズムや監督制度の運用の不備、一部公務員の素質の低下、これらすべてが腐敗の発生・蔓延の重大な社會的要素となつてゐる。今は、中國社會の実狀から出発して、対象療法を行なうべきで、法治を履行し、総合的な管理方法を通して、道德教育、法律予防・制裁等の方法を全面的に運用し、腐敗を抑制・根絶することが重要である。

市場經濟の發展と改革の深化を通して、政府權力（公權力）が社會經濟生活や交換關係に關与することを大幅に削減せねばならない。政府公權力の調整範圍を厳しく区分、定義して、市場の能力を上手く運用しながら社會の關係や利益を調整し、計画經濟と市場經濟の間で両者の接点を追求し、政府權力が關与する重点は純粹な公共事業、環境保護、衛生監督、都市規範等に制限し、純粹な市場行為については市場自身によって調節させる。政府が關与する必要のないことまで管理してしまうと、さらに多くの腐敗が発生してしまいがちだ。社會資源、特に希少な社會資源のどれを市場へと配置するか、あるいは政府權力へと配置して調節するかは、真剣に検討すべきであり、このことが公權力の腐敗を根本的に管理・減少させるうえでの最も重要な措置であり、最も行なうのが困難なことでもある。つまり、腐敗の根絶は市場化に向けた改革を全力で推進・深化させ

ることに係っている。

現在中国で発生している腐敗現象は決して市場化した結果でもなければ、市場経済への移行が生み出したものでもなく、まさしく市場システムが不完全であることから発生したものだ。市場に対する不必要な政治権力の介入を減少・抑制することで、市場自身の社会資源の配置における積極的な作用、健全で開かれた公正な市場経済の秩序、合理的、公正で、開かれた権力運行システムを充分に発揮させねばならない。

腐敗を処罰する法律制度を継続して完備させねばならない。鍵は、それらを科学的、合理的、調整的、有効たらしめることだ。

(1) 刑法改正という基礎のうえに、腐敗犯罪の処罰規定をさらに厳密にし、犯罪主体、被害対象を基準にした立法モデルを転換して、公務員の犯罪を厳しく処罰するという前提で、社会的な腐敗行為に対する総合的な管理体制を強化する。例えば、公務員の汚職贈収賄事件と一般人の横領収賄事件とは、同じ種類の犯罪として一つの機構によって捜査を進めることを考慮すべきである。

(2) 汚職腐敗事件を捜査するための法的手続を完備し、有効な特殊調査の手続を設定する。

(3) 行政・司法機関の作業手続を厳密に設定し、行政行為・司法行為の手続や制度を厳しく規定する。例えば、行

政情報の公開制度、立法・行政聴証制度、告示制度、調査期間の限定、公務員の財産の申告制度、金融実名制度などの確立。

(4) 市場経済に適応した法律体系を確立・整備して、権力・金銭交換が行なわれている抜け穴を塞ぎ、汚職腐敗を発生させる空間を縮小させ、社会監督や世論監督の立法的工作を強化する。

政治体制改革を深化させねばならない。完備し有効な権力の監督・抑制システムを確立する。腐敗は権力と共に生じ、制約を受けない権力は必然的に腐敗を招く。政治生活活動の規則を完備させ、各種政治権力の行使には規定を設けるべきであり、権力間の境界線を明確にすべきである。

監督・制約システムの機能が確実に発揮できるようにする。憲法監督、法律監督、行政監督の權威を確かなものとし、憲法違反・法律違反・各種腐敗現象を取り締まる権力をそれらに与えて、国家の監督・制約システムが有機的に、全体的に、有効的に機能するようにする。社会主義民主政治の確立を推進し、人民が主人公となって政治に参与する権利を実現しなければならない。民主を發揚し人民の積極性を結集することは、腐敗現象へ向けた巨大な力量であり、国家机关や国家公務員の清廉潔白な自律性を監督するに当たって、人民のために働き、腐敗現象を攻撃・暴露するうえで重要な働きを有している。

国家公務員の採用、審査、任免等の制度を確立・完備し、公務員の全体的な素質を高めねばならない。公務員制度や現代的な司法制度は市場経済の必然的産物であり、有力な擁護者でもある。競争、平等、優秀者採用は、公務員選抜の核心である。公務員とは公衆のために国家を管理する権利を行使する公僕であり、公衆の利益を考えることが必要で、私利私欲を謀ることは許されない、でなければ公衆によって罷免されることになる。優秀者採用の原則を貫徹しなければならぬ。国家を管理する者の素質の如何が、国家管理活動の質や効率に関係し、国家の姿にも関係してゐるため、優秀な人材を選抜することによって初めて国家を有効に管理するという重任を担うことができるからだ。優秀者採用を実現する方法は競争であり、公務員の採用には公開試験制度を採り、優勝劣敗のシステムを確立する必要がある。公務員の選抜・任用は適切な法定手続を経る必要がある。公務員の管理において、採用・審査・賞罰・育成・昇進・任免や給与・福利・定年退職等に関わる制度は法定手続を経て規定されなければならない。

合理的な「以薪養廉（給与で清廉さを養う）」を実行せねばならない。中国の社会発展や経済情況に基づけば、現在実行している「高薪養廉（高給与で清廉さを養う）」方策は決して採るべきものではない。中国の機構改革は今正に一步步深く入った所なので、現在の肥大した機構や全体的に素質

の低い官吏に高い給与を支払うことは不経済であり、合理的でもない。機構や人員を徹底的に簡素化した後で、政府や司法の人員の精鋭化を実現し、適時素質や能力に合った待遇を与えることによって、本来の機能を発揮することができる。

私は以下のように考えている。給与と腐敗の間に関連性はあるが、必ずしも反比例の関係にあるとは限らない。人員の素質の向上、厳格な監督制約システムの整備、紀律・法律に違反した者に対する厳罰処分といった条件の下で「高額給与」を実行して初めて、「清廉さを養う」ことの作用と効果が生まれてくる。そうしなければ、ある学者が言ったように、「高薪養廉」は二重の汚職を生み出してしまふ可能性がある。

中国検察機関は法律の規定に拠れば、国家公務員の汚職・贈収賄等、職務上の腐敗犯罪を捜査・処理する専門機関である。検察機関は汚職贈収賄等の経済犯罪を処罰することを重要な仕事とし、それは改革開放や経済建設における最も直接的で最も重要な任務となっていて、清廉な政治建設や経済発展を促進することに貢献している。検察機関は嚴格に法を執行し、汚職腐敗事件を集中的・精力的に捜査・処理しなければならない。党指導部、司法部門、行政執行部門、经济管理部門で発生する汚職贈収賄事件、特に指導的立場にいる幹部の犯罪を重点的に捜査する。さらに民衆

に進んで告発するよう奨励しなければならない。民衆を動員して汚職贈収賄等の経済犯罪分子を発見・検挙し、告発人の合法的な權益を適切に保護し、事件を真剣に厳しく捜査・処罰する。

法に基づいて「従重従嚴」(罪の重さによって嚴重に処罰する)という精神を貫徹し、金額が巨額、内容が劣悪で、極めて害のある事件、国家や集団の利益に重大な悪影響を与えた事件、悔い改めず、何度注意しても改めない犯罪者は、法に基づいて審理しなければならない。同時に、処罰と寛大を結びつけた政策を実行し、自首した者、金品を返却した者、情状酌量の余地ある者、罪を認め態度の良い者、改悛の情ある者については、法に基づいてできるだけ寛大な処置をとる。厳しく法に基づいて処理し、関連する法律に従い、法の執行は嚴格に、違法行為はあくまで追求し、調査研究に力を入れ、実事求是の原則を堅持し、罪と罪ではないものの境界線を嚴格に引くことができれば、反腐敗工作は、法治というレールに沿って健全に順調に進んでゆくであろう。

注

(1) 樊鳳林、宋濤主編『職務犯罪的法律对策及治理』中国
人民公安大学出版社、一九九七年、一〇一、一〇二頁。

(2) 魏平雄等主編『中国予防犯罪通鑑』人民法院出版社、

一九九八年、一七八二頁。

(3) 同右、一七八三頁。

(4) 『中国法律年鑑』一九九七年版、中国法律年鑑社、一七

七頁。

(5) 『中国檢察年鑑』一九九四年版、中国檢察出版社、三頁。

(6) 最高人民檢察院檢察長韓曄濱氏が、第九期全国人民代表大会第三回會議で報告した「最高人民檢察院工作报告」より、『法制日報』二〇〇〇年三月二〇日第一版。

(7) 『中紀委第四次全会專輯』中国方正出版社、二〇〇〇年、一八頁。

(8) 『中華人民共和国刑事訴訟法』第三条、第一八条。

主要参考文献

最高人民檢察院編『中国檢察年鑑』中国檢察出版社、一九九

三年—一九九八年各年版

王桂五主編『中華人民共和国檢察制度研究』法律出版社、一

九九一年

『檢察委員會工作手冊』中国檢察出版社、二〇〇〇年

中央紀委辦公庁編『堅定信心、加大力度、深入推進党風廉政建設和反腐敗鬥爭』中国方正出版社、二〇〇〇年

何秉松主編『職務犯罪的予防与懲治』中国方正出版社、一九九九年

張萍主編『当今中国社会病』燕山出版社、一九九三年

李士英主編『当代中国的檢察制度』当代中国出版社、一九八八年

楊春洗、高格主編『我国当前經濟犯罪研究』北京大学出版社、一九九六年

(邦訳 前田克彦)